

# 感染症予防ガイドライン

## 東京ブロック特習記録会

新型コロナウイルスの感染を最大限に防止しながら記録会を運営する為には、特習生・コーチ・保護者の方の理解と協力が必要です。残念ながら、感染のリスクは0(ゼロ)ではありません。ひとり一人が自覚と責任を持って自己防衛する事が重要です。自己防衛は、家族や仲間を守ることに繋がります。「自分は大丈夫」の考えは捨て、記録会に関わるすべての人が新型コロナウイルスの特性を正しく理解し、感染防止に努めてください。

### 【特習生・引率コーチの皆さんに守っていただきたいこと】

#### 1、記録会前

①記録会前14日前において以下のいずれかの事項に該当する場合は出場を見合わせる事

- ・ 発熱(37.5度以上)を認める。
- ・ 咳、のどの痛みや風邪の症状がある。
- ・ だるさ(倦怠感)や息苦しさ(呼吸困難)がある。
- ・ 嗅覚や味覚の異常がある。
- ・ 新型コロナウイルス感染者との濃厚接触歴がある。
- ・ 同居家族や身近な知人に新型コロナウイルス感染が疑われている方がいる。
- ・ 参加14日前までに政府から政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国、地域などへの渡航歴がある、または当該在住者との濃厚接触歴がある。

②指定の「健康管理表」に記録会当日とその14日前から健康状態を記録すること。

#### 【健康管理表について】

- (1) 健康管理表は感染症の拡散防止を目的に、参加者の健康状態の把握、来場可否の判断および必要な連絡の為に利用します。
- (2) 記録会出場日の14日前から体温と健康状態について正確に記入してください。
- (3) 健康管理表は大会要項で指定する専用の様式を使用してください。
- (4) 記載に不備がある場合は、記録会の出場または、会場への入場を許可しない場合があります。

#### 2、記録会当日

- ①入館から退館時までのすべての場面で、十分な対人距離をとって行動する。
- ②入場時は、検温を受けて「健康管理表」を提出する。いかなる場合でも健康管理表の提出がなければ入場できない。
- ③入場時検温にて発熱が認められた場合は、大会スタッフの指示に従う。
- ④入場前に体調不良となった場合は、会場内に入場せず帰宅するか、判断に迷う場合は、大会スタッフに申告する。
- ⑤会場内で体調不良となった場合は、近くのコーチ・大会スタッフに申告し指示を待つ。
- ⑥消毒液で趣旨の消毒をしてから入場する。またこまめな手洗いと手指消毒を実施する。トイレなど共用部の利用後は必ず消毒を行うこと。
- ⑦会場内では、入場時を除くマスクを着用すること。(更衣室・プールサイド・トイレ・控え場所・招集所)  
ただし、マスクが濡れないように着用する。
- ⑧マスクを外した時は、専用のケースまたはポケット等に収納すること。また、マスクを外している間は会話を控え、咳やくしゃみができる場合は、口を「肘で覆う」または「タオルや衣類で覆う」など咳エチケットを徹底する。

- ⑨マスクは水濡れ等で使用できなくなる事が予想されるため、必ず予備を持参すること。また不要となったマスクは、ビニール袋等に収納して持ち帰ること。
- ⑩可能な限り水着を着用して来場すること。
- ⑪飲食する場合は以下を厳守すること。
  - (1) 集団で同時の飲食はできるだけ避けること。
  - (2) 会話をしないこと。
  - (3) 飲食物の共有・分け合いは禁止する。
- ⑫招集所では選手間の対人距離を保ち、会話を控えること。
- ⑬自分が出場する「組」と「レーン」を事前に把握しておくこと。
- ⑭大きな声での会話や応援はしないこと。大きな拍手を送りましょう！